

SUNTORY



サントリー 健康白書 2023

Suntory Group Health and Wellbeing Report 2023



サントリー健康白書 2023

発行 サントリーホールディングス株式会社 サントリー食品インターナショナル株式会社

みんなはれ
やっぺ

新浪 剛史

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長



いのち 「生命の輝き」をめざした新価値創造

サントリーグループは、「人間の生命の輝きをめざし」、商品を通じて、人間らしい豊かな暮らしと人々の健康に貢献することを目指してきました。そして未来に向けても、新たな発想と大胆な挑戦によって、より皆様の期待にお応えする商品・サービスをお届けしていかなくてはならないと考えています。

我々サントリアンが「やっぺみなはれ」精神を発揮し、新たなイノベーションを生み出すためには、我々自身とそこご家族の心身の健康が必要不可欠です。サントリーでは2016年に「健康経営宣言」を掲げ、さまざまな取組みを実践してきました。

これからもグループ全体で健康経営を積極的に推進し、従業員一人ひとりがイキイキと輝く、「Growing for Good」な企業として、挑戦し続けてまいります。

人が大事
その基盤は
「健康」

肥塚 眞一郎

サントリーホールディングス株式会社
取締役副社長
GCHO(健康管理最高責任者)
サントリー健康保険組合 理事長



サントリアンの健康は、「やっぺみなはれ」の源

我々が健康経営で目指しているのは、従業員はもちろんご家族も含めた全員の「人間の生命の輝き」です。従業員とご家族が、健康でイキイキと毎日を送ることができ、やりがいをもって働ける、充実した生活であってほしいという願いが根幹にあります。この考え方に基づき健康経営を推進することが、グループのさらなる挑戦・未来につながると確信しています。

サントリーでは、健康診断の充実、さまざまな疾病につながる生活習慣病の予防を重点領域の一つとして幅広く取組み、各種施策を展開しています。また今後も、気軽に産業医や看護職に相談できる体制をさらに拡充して、日常的なサポートの充実にも取組みます。

一人ひとりの「健康自律」を基本としつつ、本人・会社・健保が三位一体となって健康維持・増進に取組み、心身の健康を土台に全員が仕事もプライベートも充実させていく姿を目指してまいります。

サントリーグループの企業理念

～わたしたちが大切にしていること～

わたしたちの目的 Our Purpose

サントリーグループが事業を営む目的、企業としてめざす方向性

人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、
「人間の生命の輝き」をめざす。

わたしたちの価値観 Our Values

目的を実現するために、すべての社員が大切にすべき価値観

Growing for Good

人として、企業として、社会のために成長し続けること。
成長し続けることで、社会を良くする力を大きくしていくこと。

やってみなはれ

失敗を恐れることなく、新しい価値の創造をめざし、
あきらめずに挑み続けること。

利益三分主義

事業活動で得たものは、自社への再投資にとどまらず、
お客様へのサービス、社会に還元すること。

サントリーの目指す健康経営

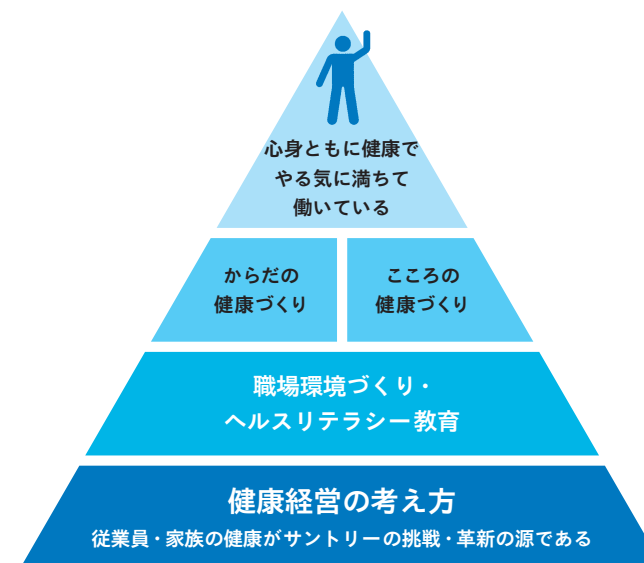
2014年に「健康づくり宣言」、2016年に経営層がGCHO (Global Chief Health Officer: 健康管理最高責任者)に就任し新たに「健康経営宣言」を行いました。

健康経営宣言 (2016年制定)

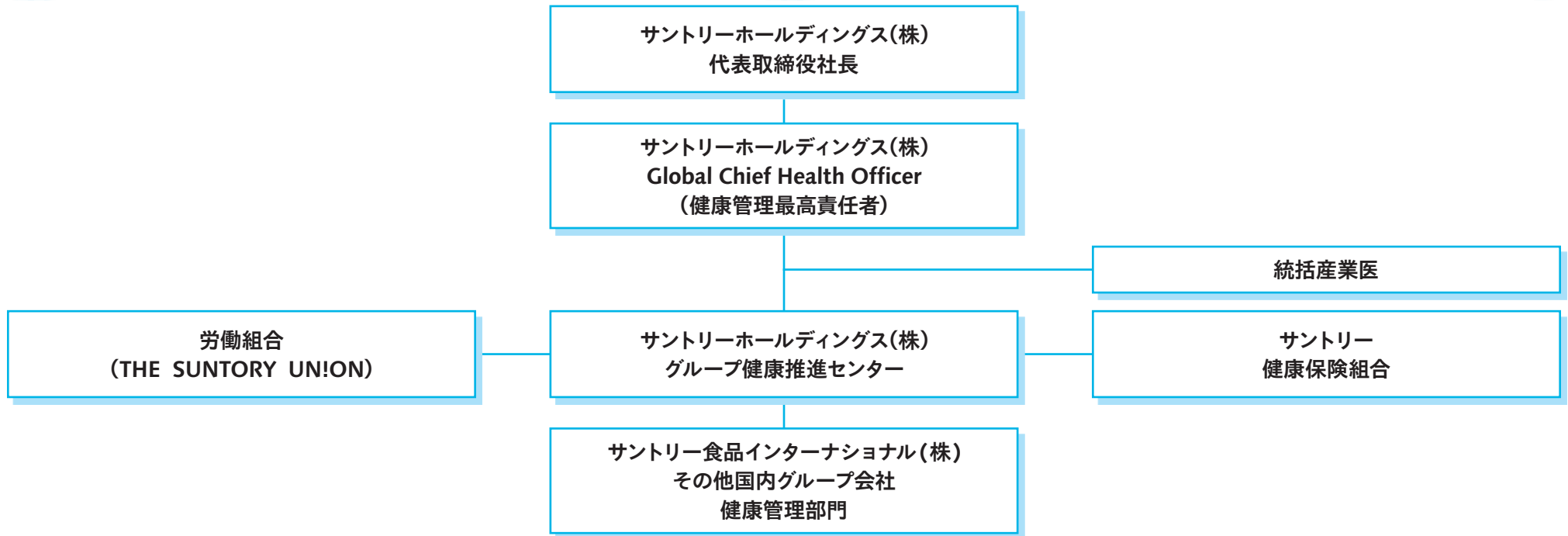
従業員・家族の健康がサントリーの挑戦・革新の源であるという考えのもと、全従業員が心身ともに健康でやる気に満ちて働いている状態を目指します。

基本方針

- 職場の環境整備や働き方改革を通して、従業員の健康基盤づくりを推進します。
- 従業員への健康情報の提供や個別支援を通して、ヘルスリテラシー教育に取り組みます。
- 生活習慣の改善とともに予防、早期発見、両立支援など身体の健康づくりを推進します。
- 一人ひとりがメンタルヘルスを理解し、適切に心のケアができるよう支援します。
- 取り組みを通して従業員と家族の“人間の生命の輝き”の実現を目指します。



健康推進体制



実施している主な健康会議

名称	おもな出席者		開催頻度	内容
経営層との協議会	<ul style="list-style-type: none"> 取締役副社長(GCHO) 人事部門担当役員 統括産業医 	<ul style="list-style-type: none"> 看護職 健康管理部門担当者 	年2回	会社の方針、健康状況の確認および今後の健康施策等に関する協議
健康管理推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 健康保険組合 統括産業医 看護職 	<ul style="list-style-type: none"> 労働組合 健康管理部門担当者 	年3回	サントリー健康保険組合の保健事業・活動について、年間を通じての活動評価・意見交換を行う
グループ会社人事担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> グループ会社人事担当者 看護職 	<ul style="list-style-type: none"> 健康管理部門担当者 	年1回	各グループ会社従業員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議
全社安全衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> 統括産業医 労働組合 	<ul style="list-style-type: none"> 人事部門労務担当者 健康管理部門担当者 	年1回	労働組合本部と全社社員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議
全国衛生管理者・推進者会議	<ul style="list-style-type: none"> 各事業場の衛生管理者、衛生推進者 統括産業医 	<ul style="list-style-type: none"> 看護職 健康管理部門担当者 	年1回	各事業場の社員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議

健康相談対応の体制

サントリーでは全従業員を漏れなくサポートするため、看護職が全事業所を分担して受け持つ担当制を導入しています。担当の看護職が社員からの相談窓口となり、産業医、メンタル専門医、臨床心理士などが連携して社員の相談に対応し、健康に就労できるような支援を行います。

また、社内の産業保健スタッフだけでなく、外部相談窓口として、プライベートな家族の問題も含めて相談ができるEパートナー相談窓口や、24時間365日医療相談ができるオンラインサービスFirst Callを設置しています。



社内相談窓口	看護職	健康面談など社員との日々の接点を通して社員の一番身近な存在としてサポートします。
	産業医	統括産業医を中心に、定期健診の事後措置や各種面談指導や治療と仕事の両立支援などを行います。
	メンタル専門医	職場のメンタルヘル스에精通した精神科医が産業医や看護職と連携し、従業員をサポートします。
	臨床心理士	心理学の知識に基づいたカウンセリングを行い、悩みを抱える社員をケアし、問題を解決できるよう支援します。
社外相談窓口	EAP	プライベートや家族の問題などさまざまな悩みについて社外のカウンセラーに相談できる外部サービス
	チャット型医療相談サービス	24時間365日チャットやテレビ電話で気軽に医師に健康相談ができるオンラインサービス

*1 EAP (Employees Assistance Program) : 社外にいる事業者が提供する従業員支援プログラム。企業からの相談を受けて、ストレス診断・カウンセリング(電話相談・メール相談・対面)・医療勧奨・メンタルヘルスの教育研修・人事や管理者へのコンサルテーション・復職支援プログラムなどを行う。

※ 本誌の「サントリー」とは、サントリーホールディングス株式会社、サントリー食品インターナショナル株式会社、サントリーフーズ株式会社、サントリープロダクツ株式会社、サントリー株式会社、サントリーウエルネス株式会社、サントリービジネスシステム株式会社、サントリーシステムテクノロジー株式会社、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社を指します。

健康経営の重点項目と目標値

サントリーでは以下の項目を目標に掲げ、こころとからだの健康支援に取り組んでいます。

生産性向上



体調不良が理由で
勤務できない日数3ヶ月の平均
(アブゼンティーズム)



0.8日

0.2日

2022年実績

2030年目標



病気やケガがない時を
100%とした場合の仕事の生産性
4週間の平均
(プレゼンティーズム)



79%

90%

2022年実績

2030年目標

ハイリスク者低減



特定保健指導基準対象者率



21.4%

10%

2022年実績

2030年目標

従業員への働きかけ 目標とKPI

1 健康診断・再検査の受診

2 健康的な生活習慣の継続

- 規則正しい食生活
- プラス10分の運動
- 就寝前のリラックスタイム30分
- 禁煙
- DRINK SMART



3 定期的なストレスチェック受検によるセルフケア

4 生活習慣病等、病気予備群に対する改善プログラムへの参加



項目	2022年実績	2030年目標
健康診断受診率	100.0%	100%
再検査・精密検査受診率	83.0%	100%
重点項目 運動習慣		
週2回30分の運動を1年以上継続 または日常生活で1日1時間以上の 身体活動を実践している人の割合	51.9%	80%
重点項目 食生活		
朝食摂取率	67.9%	80%
睡眠		
睡眠で休養がとれる人の割合	78.7%	90%
禁煙		
非喫煙率	83.5%	95%
DRINK SMART		
週1回以上の休肝日実践率	65.4%	90%
ストレスチェック受検率	90.5%	100%
非高ストレス判定率	91.8%	95%

運動習慣定着に向けた取組み

目標 運動習慣のある従業員の割合: **80%**

運動習慣定着に向けた「Activeプラス10宣言」

従業員が自ら「日常生活におけるプラス10分の身体活動の取組み」の目標を宣言する「Activeプラス10」を全従業員対象に実施し、運動習慣の動機付けをサポートしています。

- 参加者数・参加率: 7,208人・82.4% (2023年8月時点)
- 従業員の宣言例:
 - 宣言 「昼食後はオフィス9階まで階段を使います」
 - 宣言 「通勤に朝は1駅、帰りは2駅分歩きます」



運動の必要性の気づきを得る「体力年齢測定会」

自身の体力の現状を正しく理解し、行動変容につながる「気づき」を提供するため、体力年齢測定を全国の拠点で実施しています。

- 参加者数: 22拠点・約1,500人予定
- 参加者の声
 - 「社会人になると測定の機会がないので毎年継続してほしい」
 - 「改めて体力の低下を認識したのでこれから運動を始めようと思う」

イベント参加後の意識の変化

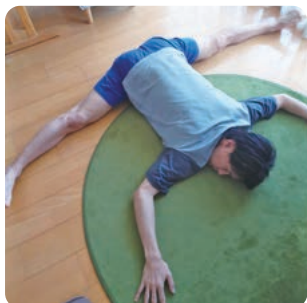


運動量を増やそうと思うと回答: **56%**



「健康人投稿リレー」や「マイActiveプラス10投稿キャンペーン」など、社内SNSでのコミュニケーションを活性化し、参加者同士が相互に刺激し合い、モチベーションが高められる環境づくりをしています。

社内SNSの投稿例



👍 24 🙌 16 😊 1 ❤️ 1 🥰 1

「ストレッチ継続でお腹も床につくようになりました」



👍 8 ❤️ 7 🥰 6 😊 3 🙌 3 +1

「アクティブPlusアート (GPSで地図に文字)」



❤️ 35 🙌 27 😊 3 🥰 1 🥰 1

「スクワット100回。子供に付き合ってもらいました」

食生活改善の取組み

目標 朝食摂取率：80%

若年層の朝食欠食対策

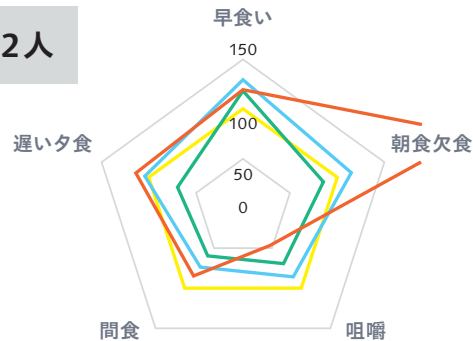
30代以下の従業員の約50%が日常的に朝食を欠食しているという課題を受け、手軽に摂れる朝食としてフリーズドライのスープを配布、併せて規則正しい食生活のメリットを情報提供。参加前後を比較して、体調の改善を実感し、プログラム参加後も朝食摂取が習慣化しているという変化がみられました。

● プログラム参加人数(累計) : 582人

食生活に関する問診結果より

※ 健保連数値を100として数値化

30代以下 40代
50代以上 健保連数値

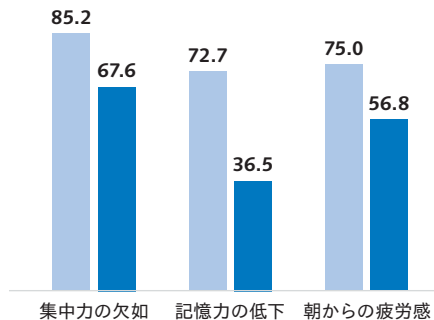


プログラム参加後の変化

体調について

(%)

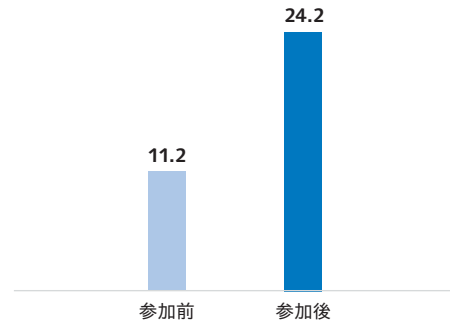
■ 事前
■ 事後



※ 「よくある・時々ある」と回答した人の割合

朝食摂取率の変化

(%)



※ 「朝食を抜くことが週3回以上ある」に「はい」と回答した人以外の割合

食事支援

特定保健指導予備群などの食生活に課題のある人に対して、栄養士が設計し栄養バランスのとれた食事が手軽に摂れる宅配型のお弁当を自宅に配布。日常生活の中で実食し、自身の食生活の改善に役立てるプログラムを実施。

2ヶ月間のプログラム参加により、食事に対する意識や行動への変化がみられただけでなく、生活習慣全体への意識の高まりも見られました。

● プログラム参加人数(累計) : 718人

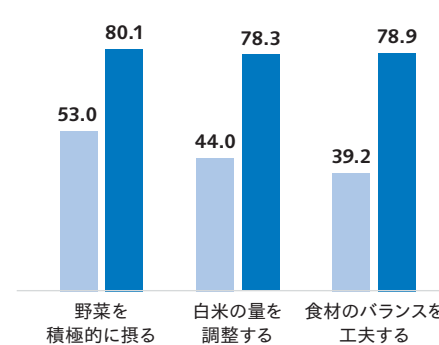


プログラム参加後の変化

食事への意識変容

(%)

■ 参加前
■ 参加後



※ 「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人の割合

参加者の声

「今まで、味付けが濃すぎたり量が多すぎたと感じ、今後の参考になりました」

「今後も食事のタイミング・バランスを意識し、健康を維持できるようにしていきたいです」

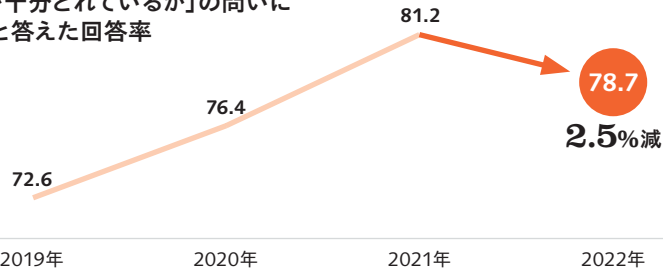
「食事だけではなく、生活習慣も少しずつ意識するようになりました」

睡眠の質改善に向けた取組み

目標 睡眠で休養がとれる人の割合：90%

取組みの背景・課題認識

「睡眠で休養が十分とれているか」の問いに対して“はい”と答えた回答率 (%)



コロナ禍をきっかけに変化したライフスタイルが元に戻りつつあることを背景に、「睡眠で休養がとれているか」という問診項目について、改善傾向だった前年から一転し、悪化が見られた。

また、特に50歳代以降の更年期世代において、「眠り」に課題を感じるという従業員の声が聞かれる。

2023 課題解決に向けた施策

- 1 快眠セミナーの開催** 対象：全従業員
「からだのサビを取り眠れる体質づくりのために」食事と睡眠
講師 サントリーウエルネス 農学博士 新免 芳史
 - 2 快眠セサミン2ヶ月トライアルプログラムの実施**
～2ヶ月ですっきりとした寝覚めを手に入れよう～
 - ▶ 健康食品「快眠セサミン」を2ヶ月間トライアル飲用
 - ▶ 期間中、対象者に良質な睡眠をとるための情報提供を定期的を実施
 - ▶ プログラム前後で睡眠に対する感じ方を調査。
- **効果・検証**
プログラム開始前・実施中・実施後に睡眠状態についてのアンケートにより効果検証

1 快眠セミナー

寺子屋開催!

あなたの“睡眠力”衰えてませんか？

サビないカラダづくりと眠れる体質づくりを叶えたいのならこの人に聞け！
～セサミン開発者、新免芳史農学博士による快眠セミナー～



初代「セサミン」開発者
SWE_ウエル品質部
農学博士 専任部長
新免 芳史

内容

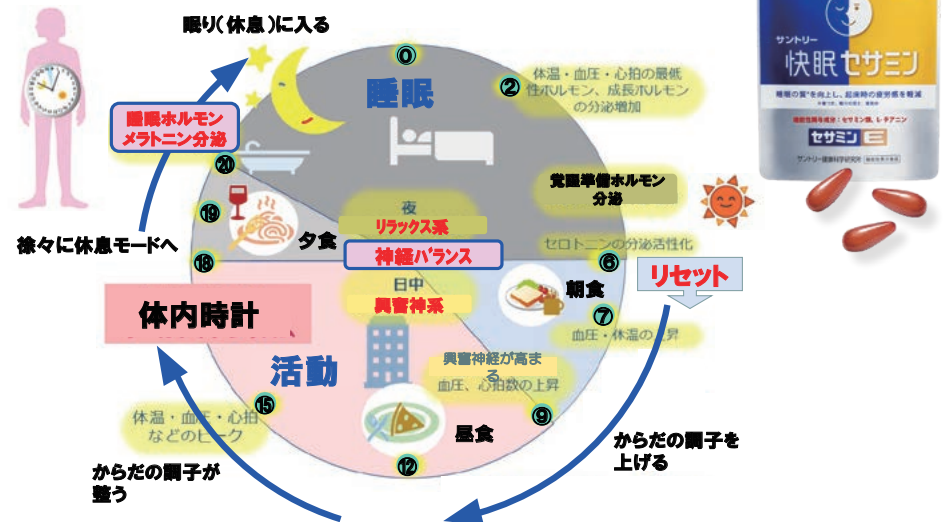
あなたは週に何回、寝覚めすっきりの朝を迎えていますか？
せっかく寝たのに、深く眠れた感じがしない
布団に入っても、なかなか寝付けない
起きた瞬間に、もう疲れている
…こんな悩みを感じていませんか。

年齢によって体内に溜まるサビからカラダを守り、睡眠の質※を高めて、
起床時の疲労感を軽減する方法を、「セサミン」開発者の新免部長に聞きます！

※ 寝つき・眠りの深さ・寝覚め

2 快眠セサミン2ヶ月トライアルプログラム

睡眠とは？（正しい体内時計のリズム＝睡眠ホルモンと神経バランス）



メンタルヘルスの取組み

目標 非高ストレス者の割合：**95%**

ラインケア

メンバーの「心の健康」についての心がけや具体的な対処法を学ぶ機会として、マネジャーを対象にラインケアセミナーを実施しています。

- 参加者数・参加率：1,597人・85.3%
- 講座内容：
 - ▶ メンタルヘルス状況の共有
 - ▶ 一般的な事例から「適切な相談対応」を学ぶ
 - ▶ 社内の具体的な事例からケーススタディをする
 - ▶ 相談窓口の案内

2～3人1組でディスカッションする時間を多くとり、事例やケースを自らに置き換え、マネジャー同士で意見交換ができるよう工夫しています。



セミナーの様子 リアル参加を基本とし、対話を軸に実施

セルフケア

ストレスへの気づきや対処法といったメンタルヘルスの基礎知識を動画を通して学び、一人ひとりが適切に対応できるようeラーニングを実施しています。

また、年1回のストレスチェックに加え、年3回のセルフチェックを実施し、定期的に自身の状態を確認することでセルフケアを促しています。

- セルフケアeラーニング実績
 - 実施者数：8,333人／実施率：95.7%
- ストレスチェックにおける高ストレス者割合
 - 2020年：6.8%／2021年：7.0%／2022年：8.2%

健康面談と両立支援体制

心身の不調の早期発見およびリテラシー向上のため、全社員を対象に看護職の1対1面談を実施しています。

不調者に対しては、産業医、メンタルヘルス専門医、臨床心理士などの医療専門職と上司・人事担当者が連携し、しっかりと回復を促す両立支援の体制づくりをしています。

また、本人の職場復帰に際しては必要に応じて試し入社制度やリワーク、ジョブコーチを活用するほか、職場復帰後も適宜フォロー面談を実施するなど、安全な復帰に向けたフォロー体制を徹底しています。

健康面談実績

- ▶ 2022年実施者数：3,063名
- ▶ 施策満足度：(大変)良かった 97.6%
- ▶ 内容理解度：(よく)理解できた 99.8%



コラボヘルスの取組み

健保と会社が協働する「特定保健指導」

サントリーでは、2018年よりコラボヘルスの取組みとして、国から健保に実施が義務付けられている特定保健指導を健保と会社側で協働実施しています。

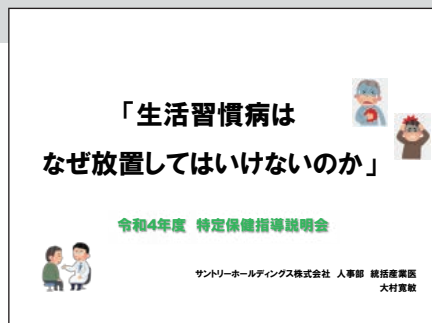
取組みのポイント

● プレセミナーによるマインドセット

指導開始前に統括産業医によるオンラインセミナーを実施し、特定保健指導の意義と目的を分かりやすく説明しています。

● 将来予測「からだ未来レポート」の配付

一人ひとりの健診結果から将来の病気のリスクを数値化した情報を「からだ未来レポート」として保健師との面談時に配布・説明し、気づきのきっかけを提供しています。



特定保健指導実績

- ▶ 2022年度従業員実施率：64%
- ▶ 従業員参加者数：672人
- ▶ 従業員向けの施策投資額：11百万

※2022年新規加入会社分は除く

グループ会社のサントリー健康保険組合加入に向けた取組み

サントリーでは、サントリーグループ各社のサントリー健保加入を2021年から進めています。このベースにはサントリーの事業を日々支えているサントリーグループに勤務する全従業員とそのご家族に、等しく、同じレベルの健康サポートを実施し、健康で生き生きとした毎日を送るサポートをしたい」という思いがあります。加入条件として、健診の受診率や再検査の受診率向上に向けた取組みを求めており、具体的な方策についてはグループ健康推進センターが主体となり各社をサポートしています。

● 2023年3月末時点 加入状況

加入会社数：9社 (内2022年加入会社：4社)

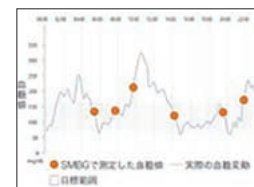
加入者数 従業員：15,391人 (内2022加入会社従業員：7,935人)

家族：17,398人 (内2022加入会社家族：8,341人)

「重症化予防」の取組み

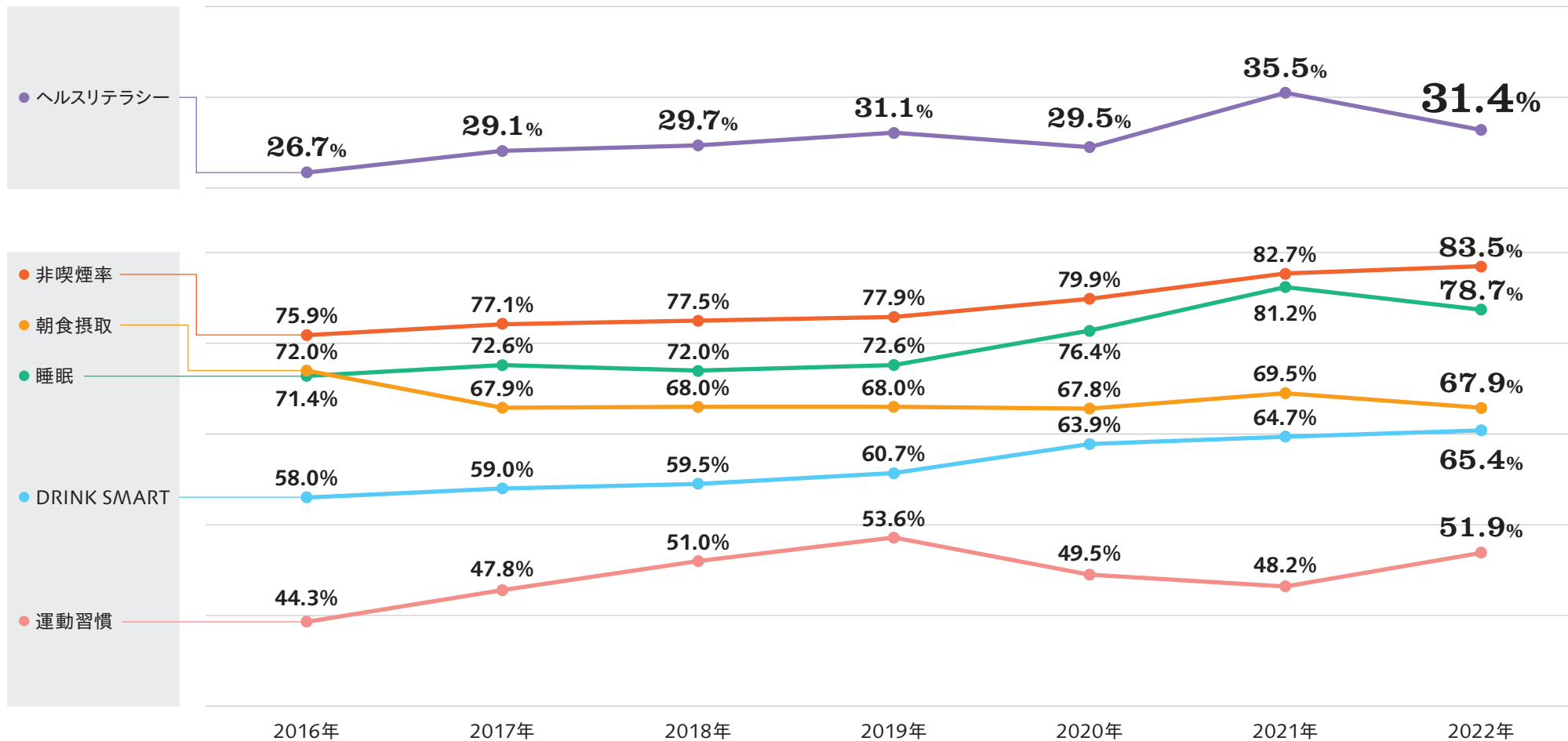
サントリー健康保険組合では、過去より重症化予防指導に力を入れてきました。特に血糖値改善に力点をおき、血管疾患のリスクのある人や糖尿病の進行により人工透析などのリスクのある人を対象に、かかりつけ医と連携しながら食事や運動後の血糖変動が体感できる研修施設での宿泊型プログラムを実施してきました。最近では対象を軽度の早期腎症予防まで拡大し、血糖値変動を常時見える化する「FreeStyle リブレ」を使ったりリモート型の指導を実施しています。

- ▶ 血糖ハイリスク者治療率：80.4%



生活習慣の推移と主な施策

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
新たに開始した 主な施策	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営宣言 卒煙サポート ヘルスマイレージ ラジオ体操 	<ul style="list-style-type: none"> One Suntory Walk 睡眠セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス ラインケア研修 適正飲酒支援強化 	<ul style="list-style-type: none"> 就業時間内一部禁煙 事業所健康目標設定 若年層保健指導 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン フィットネス配信 社内カウンセラー 動画配信 	<ul style="list-style-type: none"> 就業時間内禁煙 バーチャルフィット ネス倶楽部 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内全面禁煙 Activeプラス10 朝食支援



※ 各項目は健康診断の問診結果から集計
 ヘルスリテラシー: 「運動や食生活などの生活習慣を改善してみようと思いますか」の間に「既に改善に取り組んでいる」と回答した人の割合
 朝食摂取: 「朝食を抜くことが週3回以上ある」の間に「いいえ」と回答した人の割合
 睡眠: 「睡眠で休養が十分とれている」と回答した人の割合
 DRINK SMART: お酒を飲む頻度が「毎日」と回答した人以外の割合
 運動習慣: 「週2回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している」または「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している」と回答した人の割合

トピックス

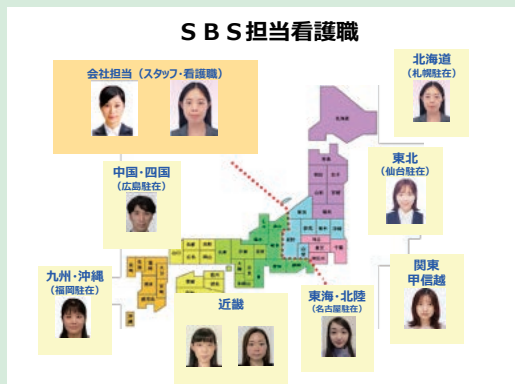
グループ全体の健康経営をより強力に推進

サントリーでは、サントリーグループ全体で「健康経営」を推進することがサントリーグループの成長の基盤だと考えています。

2023年から従業員の健康を推進する社内組織のリソースを統合し、「グループ健康推進センター」として、国内のサントリーグループ約2万人を対象に体制を整えました。

全国に看護職を配置し、医療専門職に直接健康相談できる体制を整えています。

生活習慣病対策、喫煙対策、メンタルヘルス対策に加え、事業所健康活動の推進、データ分析など、今後はグループ全体でより強力に推進していきます。



運動習慣化 + αの楽しさ・つながり

健康とは、身体的、精神的、社会的に健康であること。

サントリーでは楽しみながら健康的な生活が過ごせるよう、+αの楽しさやコミュニケーションつながりを大切にさまざまな健康イベントを企画しています。

「サントリーソフトバレーボール大会」

2023年は全国8か所でご家族も含めて約1万7千人が参加。チーム対抗でソフトバレーボールのトーナメント戦を行います。体力測定コーナーや子供向けのバレー教室など、家族そろって楽しめる内容が盛り沢山です。



グローバルウォーキングイベント「One Santory Walk」

2017年から毎年10月に世界中のサントリー従業員が参加するウォーキングイベントを開催しています。参加人数に応じて、水に関わる環境保護団体への寄付につながるイベントで、社会貢献の要素が従業員の参加促進につながっています。イベントサイトには、30ヶ国にわたる参加者から、それぞれ世界各地で歩く様子の投稿写真が集まります。



女性の健康課題への取組み

2021年に女性の健康支援に特化した支援体制「働く女性の保健室」を立ち上げました。

2023年は、中でも相談件数の多い更年期障害について、効果的な支援を検討するため、社内調査を実施。50代の女性従業員の75%が「更年期障害の可能性あり」などの回答結果が得られました。

- 更年期に関する社内調査
対象者: 全従業員 8,517名
回答者数: 4,070名

これを受け、男性も含めた全従業員に対して社内調査結果をフィードバックするとともに女性の更年期に関するミニ動画シリーズを配信し、男女問わず、正しい理解を促す活動をしています。



データ分析の裏付けによる健康経営

サントリーでは、従業員の健診結果やストレスチェック・属性・勤怠等のデータを活用したクロス分析に力を入れています。特性に応じた課題を把握し、より一層効果的な健康施策運営を進めていきます。



データ分析

コロナ以降の働き方の変化による 不調の兆し

コロナ以降働き方の変化により
ストレスチェックにおける
高ストレス者に若干の増加傾向が
見られます

ストレスチェックにおける 高ストレス者割合

2020年	6.8%
2021年	7.0%
2022年	8.2%



要因分析

部署異動による心理的負荷

ストレスチェック結果
(高ストレス者 or 非高ストレス者)
×
異動歴
(1年以内異動対象者 or 非異動者)

長時間労働の心理的負荷

ストレスチェック結果
(高ストレス者 or 非高ストレス者)
×
労働時間
(長時間労働者 or 非長時間労働者)



アクション

ストレス要因の分析による メンタルヘルス不調予防へ

部署単位の組織のトップが
自部署の「健康データ」を
随時確認できる環境整備



組織ごとの課題に即応した
健康施策の立案

サントリーの健康経営で解決したい経営課題

健康投資効果

健康投資

健康投資施策の取組み状況に関する指標

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

健康関連の最終的な目標指標

健康経営で解決したい経営課題

さまざまな効果に関連する健康投資

定期健診・再検査・がん検診の徹底

生活習慣病予防対策・重症化予防対策の実施

メンタルヘルス対策の実施

一人ひとりの健康自律・各事業所の健康増進活動の活性化

安全衛生管理体制の強化

全社員を対象にした専門職による健康面談の実施

こころとからだに関する健康セミナーの実施

運動習慣改善
・全社員参加型キャンペーンの実施

食生活改善
・朝食補助の実施
・宅食補助の実施

禁煙プログラムの実施
敷地内禁煙の実施

ヘルスマイレージ制度

事業所主催の健康イベントに対する費用補助

安全安心な職場環境づくり、マネージャー教育

健康面談での理解度の向上

健康セミナーの参加率の向上

Activeプラス10の参加率の向上

改善された食習慣の継続率の向上

禁煙プログラムの参加率の向上

ヘルスマイレージの登録率の向上

事業所イベント実施率の向上

ラインケア研修の参加率

規則正しい食生活を送る従業員の割合の向上

運動習慣のある従業員の割合の向上

睡眠で休養がとれる従業員の割合の向上

休肝日のある従業員の割合の向上

喫煙者比率の低下

再検査受診率の向上

ストレスチェックの「周囲からのサポート」スコアの向上

アブゼンティイズム(病欠)の低減

プレゼンティイズム(仕事の生産性)の改善

生活習慣病該当者の低減

ワーク・エンゲージメントの向上

医療費の削減

一人ひとりが心身ともに健康でイキイキとした毎日を送り、やりがいをもって働いている状態の実現

「やってみなはれ」精神の発揮・新たなイノベーションの創出

「人」を大切に
する風土の強化

社会の「健康」への貢献

DRINK SMARTの取り組み

～お酒に関する正しい知識を啓発
取引先企業の健康を支援～

サントリーでは、お酒の正しい知識を持ち、お酒と楽しく上手に付き合ってより豊かな生活を送ることを「DRINK SMART」と呼んでいます。

従業員がDRINK SMARTを実践することはもちろん、酒類を製造・販売する企業の責任として、従業員の誰もがセミナーを企画できる体制を整えており、社会への働きかけの活動も積極的に展開しています。

～取引先企業へのDRINK SMARTセミナー～



酔いのメカニズムや節度ある適度な飲酒量、おすすめのお酒の飲み方などを取引先企業を中心に、社外向けに紹介しています。2022年にはのべ8,638人の方に受講いただきました。



地域を支える「Be supporters!」

Be supporters!

～地元のサッカークラブを応援して、
カラダもココロも元気になろう～

サントリーウエルネスでは、高齢者や認知症の方など、普段は周囲に「支えられる」機会の多い方が、サッカークラブの“サポーター”となることで、クラブや地域を「支える」存在となることを目指す活動「Be supporters!」を推進しています。

2020年12月にスタートしたこの活動は、Jリーグと協働で推進し、これまでに20クラブ・全国約160施設・のべ6,000人が参加するまでに広がっています。

手拍子やタオル回しをする、ユニフォームを着る、施設を飾る、「サポ飯」を作って食べる、観戦日記をつける…みんなで応援を楽しむことは、心身の健康づくりにもつながります。

誰かを応援することで人とのつながりが生まれ、心身ともに元気になることを目指して…。いくつになってもワクワクドキドキする、そんな当たり前の願いを形にする活動です。

<https://www.suntory-kenko.com/contents/enjoy/besupporters/>

社会の「健康」への貢献

「GREEN DA-KA-RA」熱中症対策啓発活動

～学校・企業でのセミナーを通じた啓発活動を展開～

サントリー食品インターナショナルでは、熱中症対策の啓発活動の一環として「GREEN DA-KA-RA」を通じたさまざまな取組みを展開しています。

小学校での啓発活動

熱中症予防啓発ポスターや啓発リーフレットを全国の小学校(約20,000校)へ無償提供しています。



子どもの熱中症予防活動「こども気温」

ウェザーマップ社との共同検証により、地面からの距離が近く照り返しの影響を受けやすい子ども特有の暑熱環境を「こども気温」と名付け、店頭ポスターの掲示やWEB動画の配信などによって、子どもの熱中症予防啓発を2023年7月からスタートしました。



「GREEN DA-KA-RA」(左)

「GREEN DA-KA-RA やさしい麦茶」(右)



企業向け熱中症セミナー

希望する取引企業に対して、オフィスにおける熱中症発生の危険性や予防方法についてのセミナーを2016年から継続して実施し、企業の健康経営をサポートしています。

●2023年1～6月実績：**177**事業所



社会の「健康」への貢献

健康経営取組み支援サービス「SUNTORY+」

企業の「健康経営」をサポートするヘルスケアサービス



導入から
ご利用まで
0円

従業員が主役の健康経営サービス

従業員アプリ

健康飲料

人事管理画面



Q. 健康によい行動をすることが増えましたか？

増えなかった
12%

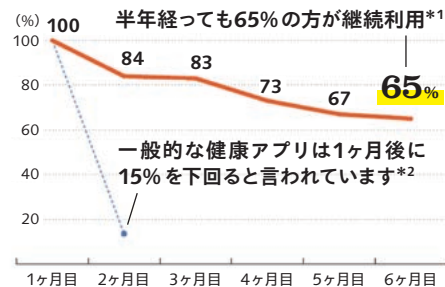
とても増えた
20%

「増えた」と回答
88%

やや増えた
68%

従業員の**88%**が行動変容を実感

サントリープラス利用者アンケート調査(当社にて実施)
調査対象者: サントリープラス導入A企業従業員様
調査対象人数: 222人
調査対象期間: 2021年8月~2021年11月



導入半年後も継続率をキープ

*1 サントリープラスアプリ利用者より抜粋(当社にて実施)調査対象人数: 390人 調査対象期間: 2021年9月1日~2021年2月28日 継続の定義: 月1回以上のアプリ起動
*2 Adjust Global App Trends 2019レポートより(調査対象期間: 2018年1月1日~2018年12月31日 Adjust株式会社による調査)

700社以上で導入いただき、サントリー習慣化メソッドが健康行動の継続を支援しています。

※2023年9月時点

対外活動を通じた「健康に対する貢献活動」

▶ サービスご利用者との交流

ご利用企業との情報交換会



弊社産業医によるコラム提供



サービスを通じた双方向のコミュニケーションにより、各企業との取組みを深めています

▶ 産業保健分野の方々との交流

日本産業衛生学会セミナー登壇



※2023年5月

「産業保健と看護」共催セミナー

産業保健と看護 × SUNTORY 共催セミナー



※2023年6月

各方面の有識者と共に「従業員が主役の健康経営」という考え方・在り方の浸透を図っています

SUNTORY



<https://www.suntory.co.jp/company/peopleculture/>

「健康経営銘柄2023」に選定

サントリー食品インターナショナル株式会社、並びに上場企業ではないサントリーホールディングス(株)などサントリーグループ8社[※]は、健康経営に先進的な企業として「健康経営銘柄2023」に選出されました。

また「健康経営優良法人2023～ホワイト500～」は7年連続で認定を受けています。

[※] サントリー(株)、サントリーウエルネス(株)、サントリーグローバルイノベーションセンター(株)、サントリーシステムテクノロジー(株)、サントリービジネスシステム(株)、サントリーフーズ(株)、サントリープロダクツ(株)、サントリーホールディングス(株)の8社(五十音順)

